

## 4 果 樹

項 目	作 業 内 容
<p>(1) 温州みかんの着果対策</p>	<p>(今月の作業のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○温州みかんの着果対策</li> <li>○中晩柑類の着果管理</li> <li>○キウイフルーツの摘果</li> <li>○キウイフルーツかいよう病への対策</li> <li>○夏肥の施用</li> </ul> <p>1 か月予報では、向こう 1 か月の気温は平年並みまたは高くなっており、この時期の天気は数日の周期で変わる予報となっている（5月18日高松地方气象台発表）。気象状況を確認し、今後の着果管理を行う。</p> <p>ア 着果量の多い樹</p> <p>(ア) あら摘果</p> <p>着果の多い樹では、早期に着果負担を軽減し、新梢を発生させて、来年の結果母枝を確保することが重要となるため、一次落果が終わり次第作業を行う。6月下旬から傷果や奇形果を中心に摘果を行い、7月上旬頃までに終わらせる。</p> <p>(イ) 摘果剤の有効利用</p> <p>着果量が多く、摘果する労力がない場合は、摘果剤を利用する。</p> <p>フィガロン乳剤を使って部位別に全摘果を行うには、満開 10～20 日後の生理落果最盛期に、1,000 倍を摘果したい部位へ散布する。また、間引き摘果を目的とする場合は、満開 20～50 日後に、1,000～2,000 倍を全面に散布する。</p> <p>ターム水溶剤を使って部位別に全摘果を行う場合は、満開 10～20 日後に、500～1,000 倍を摘果したい部位へ散布し、間引き摘果を行う場合は、満開 20～40 日後に 1,000～1,500 倍を全面に散布する。</p> <p>ただし、両剤とも散布時の気温によって効果の発現が異なってくる。25℃に近い気温で散布すると効果が高いが、それ以上の気温となると落果が多くなるので、間引き摘果の場合は注意が必要である。</p> <p>また、フィガロン乳剤は樹勢を衰弱させやすいため、連年での使用は避ける。ターム水溶剤は、根への移行はほとんどみられないため、樹勢への影響は少ないと考えられるが、芽の伸長を停止させる効果もあることから、樹勢をよく観察して使用する。</p>

項 目	作 業 内 容
<p>(2) 中晩柑類の 着果管理</p>	<p>イ 着果量の少ない樹 新梢と幼果の養分競合や、多雨・日照不足・高温等の影響により生理落果が助長される。このため、着果部位周辺の強い新梢の芽かき、かぶさり枝の除去により、養分競合の防止及び樹冠内部の受光環境の改善を行い、結実率を高める。</p> <p>ア 「伊予柑」 一次落果終了後(6月下旬頃)に、結果過多樹や樹勢衰弱樹からあら摘果を行う。あら摘果の目安は、葉果比 50~60 程度で、7月中には終わらせる。直花果、奇形果、傷果、内なり果、極小果、遅れ花果等を摘果する。</p> <p>イ 「不知火」 着果量が多いと、樹勢の低下や小玉果の増加、隔年結果を引き起こしやすくなる。小玉果は高単価が期待できないことから、6月中旬から下旬までに全摘果量の8割程度を目標にあら摘果を行い、奇形果、直花果、偏平果、傷果等を除去する。あら摘果を行うことにより、果実肥大が促進されるほか、夏芽を発生させることで細根が発生し、減酸しやすくなる。</p> <p>ウ 「せとか」 収穫時期が3月と遅いため、樹に負担がかかりやすい。着果量が多い場合、さらに樹勢が低下し、隔年結果性が強まる。このため、生理落果終了後できるだけ早期に、葉果比 60 程度まで摘果し、夏芽を発生させ、樹勢低下を防ぐ。</p> <p>エ 「愛媛果試第 28 号」 葉果比が60程度となるように、6月下旬から7月上旬にあら摘果を行う。夏芽の発生を促進するため、主枝の先端部は全摘果する。直花果や短い有葉果、内なり果、裾なり果を摘果し、葉5枚以上の有葉果を残す。</p> <p>オ 「甘平」 夏秋期に裂果しやすいため、20~30%の裂果を想定した着果管理を行う。あら摘果では葉果比60を目安として、極小果、奇形果等を中心に摘果を行う。</p>
<p>(3) キウイフル ーツの摘果</p>	<p>キウイフルーツの果実は、7月の中旬頃までに収穫時点の果実径の70~80%まで肥大する。特に、細胞数が劇的に増加する受粉後30日間は、不要な果実を早期に摘果し、残す果実の初期肥大を促進させることが重要である。着果量は1m<sup>2</sup>当たり25~30果を目安とする。</p>

項 目	作 業 内 容																																																																																																						
(4) キウイフルーツか いよう病 への対策	園地の見回りによって、本病による枝枯れや枝基部からの樹液漏出痕が確認された場合には、周辺への拡散防止のため、発病部の早期除去を行うなど、発病程度に応じ適切に伐採や切除を行う。薬剤防除に当たっては、コサイド3000の2,000倍（使用時期：収穫後～果実肥大期。薬害軽減のため、炭酸カルシウム剤200倍を加用）、アグリマイシン-100の1,000倍（使用時期：落花期まで3回以内）、アグレプト水和剤1,000倍（使用時期：収穫90日前まで4回以内）、マイシン20水和剤1,000倍（使用時期：収穫90日前まで4回以内）、またはカスミン液剤400倍（使用時期：収穫90日前まで4回以内）などを散布する。耐性菌出現の恐れがあるため、同一FRACコードの抗生物質の運用は避ける。																																																																																																						
(5) 夏肥の施用	<p>6月は地温が上昇し、根の活性とともに肥料の吸収効率も高まる。夏肥を施用して新梢の充実や幼果の肥大を促す（下表参照）。</p> <p>表 愛媛県施肥基準</p> <table border="1" data-bbox="467 1032 1401 1697"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品種名</th> <th rowspan="2">目標収量 (t/10a)</th> <th rowspan="2">施肥時期</th> <th colspan="3">施肥成分量 (kg/10a)</th> </tr> <tr> <th>チッ素</th> <th>リン酸</th> <th>カリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">かんきつ類</td> <td>伊予柑</td> <td>4</td> <td>6月下旬</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>不知火</td> <td>3</td> <td>6月下旬</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>ぼんかん</td> <td>3</td> <td>6月下旬</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>清見</td> <td>3.5</td> <td>6月下旬</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>河内晩柑</td> <td>6.5</td> <td>6月下旬</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>せとか</td> <td>3.5</td> <td>6月下旬</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>愛媛果試第28号</td> <td>4</td> <td>6月上旬</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>甘平</td> <td>3.5</td> <td>6月下旬</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">落葉果樹</td> <td>かき</td> <td>3</td> <td>6月下旬</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>キウイフルーツ</td> <td>2.5</td> <td>6月下旬</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>くり</td> <td>0.4</td> <td>6月下旬</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ぶどう(一般種)</td> <td>1.5</td> <td>6月下旬</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>3</td> <td>6月上旬</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>もも</td> <td>2</td> <td>6月上旬</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ブルーベリー</td> <td>2</td> <td>6月中旬</td> <td>4.2</td> <td>3</td> <td>3.6</td> </tr> </tbody> </table>	品種名	目標収量 (t/10a)	施肥時期	施肥成分量 (kg/10a)			チッ素	リン酸	カリ	かんきつ類	伊予柑	4	6月下旬	9	7	8	不知火	3	6月下旬	8	6	7	ぼんかん	3	6月下旬	8	6	7	清見	3.5	6月下旬	9	7	7	河内晩柑	6.5	6月下旬	9	6	7	せとか	3.5	6月下旬	9	7	7	愛媛果試第28号	4	6月上旬	10	7	8	甘平	3.5	6月下旬	9	7	7	落葉果樹	かき	3	6月下旬	6	3	6	キウイフルーツ	2.5	6月下旬	4	4	5	くり	0.4	6月下旬	4	2	5	ぶどう(一般種)	1.5	6月下旬	2	2	5	なし	3	6月上旬	3	2	3	もも	2	6月上旬	3	2	3		ブルーベリー	2	6月中旬	4.2	3	3.6
品種名	目標収量 (t/10a)				施肥時期	施肥成分量 (kg/10a)																																																																																																	
		チッ素	リン酸	カリ																																																																																																			
かんきつ類	伊予柑	4	6月下旬	9	7	8																																																																																																	
	不知火	3	6月下旬	8	6	7																																																																																																	
	ぼんかん	3	6月下旬	8	6	7																																																																																																	
	清見	3.5	6月下旬	9	7	7																																																																																																	
	河内晩柑	6.5	6月下旬	9	6	7																																																																																																	
	せとか	3.5	6月下旬	9	7	7																																																																																																	
	愛媛果試第28号	4	6月上旬	10	7	8																																																																																																	
	甘平	3.5	6月下旬	9	7	7																																																																																																	
落葉果樹	かき	3	6月下旬	6	3	6																																																																																																	
	キウイフルーツ	2.5	6月下旬	4	4	5																																																																																																	
	くり	0.4	6月下旬	4	2	5																																																																																																	
	ぶどう(一般種)	1.5	6月下旬	2	2	5																																																																																																	
	なし	3	6月上旬	3	2	3																																																																																																	
	もも	2	6月上旬	3	2	3																																																																																																	
	ブルーベリー	2	6月中旬	4.2	3	3.6																																																																																																	

(作成：果樹研究センター)